



Windows 95 モデル

# ソフトウェアガイド・ダイジェスト

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書では次の項目を説明しています。

はじめに	4
添付のマニュアルについて	4
製品の呼びかた	4
FMV マニュアルの参照	5
セットアップ	6
Windows セットアップ	6
タッチパネルの調整 ([MC] タッチパネルモデル)	7
ユーザー登録について	8
Windows 起動ディスクを作成してください	8
ドライバズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー	8
プログラムが動かなくなったときは	9
Windows が正常に起動しないときは	9
再インストール	11
インストールの準備	12
ドライバズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて	12
ハードディスクの圧縮を解除する	13
ハードディスクの領域を設定する	13
ポータブル CD-ROM ドライブを使うには	15
OS / ドライバのインストール	16
Windows の新規インストール	16
USB サポートのインストール	20
ハードディスクの DMA の設定	20
西暦 2000 年問題に関する留意事項	21
ドライバおよびユーティリティのインストール	21
DirectX7.0a のインストール	21
ディスプレイドライバのインストール	21
サウンドドライバのインストール	23
モデムドライバのインストール (モデム搭載モデル)	24
LAN ドライバのインストール (LAN 搭載モデル)	25
赤外線通信の設定	25
3 モードフロッピーディスクドライバのインストール	25
プリンタの設定	26

プレインストールソフトのインストール .....	26
Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール .....	26
タッチパネルドライバのインストール ([MC] タッチパネルモデル) .....	27
省電力管理ユーティリティのインストール .....	27
Intel SpeedStep のインストール (FMV-6700MF9/X) .....	27
Windows 環境調査ツール (WinDiag) のインストール .....	28
Acrobat Reader のインストール .....	28
Intellisync のインストール .....	28
FM 一発修正のインストール .....	28
ソフトウェアライブラリのアップデート .....	29
アップデート方法 .....	29
添付ソフトについて .....	29
Save To Disk 領域 .....	29

## 使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

### ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権  
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ  
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み  
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製  
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。  
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。  
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。  
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡  
お客様が本ソフトウェア（本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等  
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲  
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。  
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。  
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関して、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。  
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記 (1) の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイフティ  
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

## マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております (<http://www.microsoft.com/japan/>)。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの **Readme.txt** を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

# はじめに

## 添付のマニュアルについて

本パソコンには、次のマニュアルが添付されています。

- はじめにお読みください  
梱包物一覧、および最初に行う操作などを説明しています。
- ハードウェアガイド・ダイジェスト  
パソコン本体の各部の名称、電源の入れ方など、『ハードウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。  
なお、お使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。
- ソフトウェアガイド・ダイジェスト（本書）  
Windows のセットアップ方法、リカバリ方法など、『ソフトウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。  
なお、お使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。
- FMV マニュアル（\*\*▶ P.5）  
PDF 形式のファイルとして、「ドライバーズ CD / マニュアル CD」に収録しています。  
『ハードウェアガイド』や『ソフトウェアガイド』など、本パソコンの使いかたを説明したマニュアルを用意しています。状況に応じてご覧ください。

## 製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me	Windows
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows 98	
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows 95	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT	
ドライバーズ CD / マニュアル CD	ドライバーズ CD	
FMV-6700MF9/X	[MF]	本パソコン パソコン本体
FMV-660MF9/X		
FMV-660MC9/W		
モデム搭載	モデム搭載モデル	
LAN 搭載	LAN 搭載モデル	
[MC] タッチパネル搭載	[MC] タッチパネルモデル	
[MC] タッチパネル搭載なし	[MC] ベースモデル	

## FMV マニュアルの参照

---

本書に記載されていない内容は、『ハードウェアガイド』および『ソフトウェアガイド』に記載されています。これらは「ドライバーズ CD」内の「FMV マニュアル」(Manual.pdf) からご覧になれます。

### 重要

- ▶ 周辺機器の取り付けなど、パソコン本体の電源を切ってから行う操作の場合は、事前に該当するページを印刷するか、他の装置で参照してください。
  - ▶ 「FMV マニュアル」をハードディスクにコピーして使用する場合は、「ドライバーズ CD」内の「Manual.pdf」と「Manual」フォルダを同一フォルダにコピーしてください。
- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
  - 2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。  
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
  - 3 CD-ROM のドライブアイコンをダブルクリックし、「Manual.pdf」をダブルクリックします。  
Acrobat Reader 4.0 が起動し、目次が表示されます。
  - 4 参照したいマニュアルの名称をクリックします。

### 重要

- ▶ CD-ROM ドライブを搭載していない装置の場合は、他の装置で参照するか、ネットワーク上の共有ドライブで参照してください。
- ▶ ポータブルCD-ROMを使用する場合、ポータブルCD-ROMのPCカードをセットしてください(▶『ハードウェアガイド・ダイジェスト』参照)。  
また、ポータブル CD-ROM ドライブの使用方法は、ポータブル CD-ROM ドライブのマニュアルをご覧ください。

## セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う Windows の初期設定 (Windows セットアップ) について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

### Windows セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

なお、内蔵ポインティングデバイスがない場合には、あらかじめマウスを用意してください。

#### ■留意事項

●Windows セットアップを行う前に、周辺機器を取り付けないでください。

Windows セットアップを行う前に周辺機器を取り付けると、Windows セットアップが正常に行われず場合があります。

●Windows セットアップ時に音が鳴ります。スピーカーのボリュームを調整してください (▶『ハードウェアガイド・ダイジェスト』参照)。

●Windows セットアップの各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが正常に行われず場合があります。ダイアログボックスが完全に表示された後、ポインティングデバイスで操作してください。

●本パソコンの省電力機能により、Windows セットアップの途中で、しばらく操作をしないと、画面が真っ暗になることがあります。本パソコンの電源は切断されていないので、MAIN スイッチを OFF にしないでください。MAIN スイッチを OFF にすると、本パソコンのデータが壊れ、正常に動作しなくなる場合があります。

画面が真っ暗になった場合は、次の操作を行ってください。Windows のセットアップ画面が表示され、操作を続けることができます。

1. ポインティングデバイスを操作します。
2. キーボードを操作します。

また、状態表示 LCD の SUS/RES 表示 (④) が点滅している場合は、SUS/RES スイッチを押してください (▶『ハードウェアガイド・ダイジェスト』参照)。

#### ■セットアップ

1 パソコン本体下面の Product ID (Product Key) を確認し、書き留めます。

セットアップ中に必要になります。必ず書き留めてください。

□□□□□-OEM-□□□□□□□□-□□□□□

2 内蔵ポインティングデバイスがない場合、マウスを取り付けます (▶『ハードウェアガイド・ダイジェスト』参照)。

3 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます。しばらくすると「Windows 95 セットアップウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

4 「名前」と「会社名」を入力します。

#### POINT

- ▶ 「会社名」は省略できます。
- ▶ 会社などでパソコンを共有して使用する場合は、「名前」のかわりに部署名などを入力することもできます。

5 「次へ」をクリックします。

使用許諾契約書が表示されます。

「使用許諾契約書」とは、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

6 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックして「次へ」をクリックします。

#### POINT

- ▶ 「同意しない」をクリックした場合は、「次へ」をクリックしたあと、メッセージに従って操作してください。

Product ID (Product Key) を入力するダイアログボックスが表示されます。

7 手順 1 で確認した Product ID (Product Key) を入力し、「次へ」をクリックします。

「ウィザードの開始」ダイアログボックスが表示されます。

8 「完了」をクリックします。

このあと LAN 搭載モデルの場合、「このコンピュータをネットワーク上で識別するために、コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示されます。

LAN 機能を内蔵していない場合は手順 14 に進んでください。

9 「OK」をクリックします。

「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

10 「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力し、「閉じる」をクリックします。

#### 重要

- ▶ ここでは、「コンピュータ名」と「ワークグループ」、および「コンピュータの説明」以外の設定を行わないでください。他の設定を行うと、Windows セットアップ中にエラーが発生することがあります。他の設定は Windows セットアップ終了後に行ってください。なお、「コンピュータの説明」は省略することができます。

- ▶ 「コンピュータ名」と「ワークグループ」は半角英数字で入力してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、すべて「はい」をクリックしてください。

ファイルのコピー終了後、再起動メッセージが表示されます。

- 11** 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動し、「パスワード」を入力するダイアログボックスが表示されます。
- 12** 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

### POINT

- ▶ 「ユーザー名」と「パスワード」は半角英数字で入力してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- ▶ 「パスワード」は省略することができます。
- ▶ 「パスワード」を入力した場合、起動時に毎回「パスワード」を入力する必要があります。「パスワード」は忘れないでください。

「Windows パスワードの設定」ダイアログボックスが表示されます。

- 13** 「新しいパスワードの確認入力」にもう一度「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。  
「パスワード」を省略した場合は何も入力しないで「OK」をクリックします。
- 14** 「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスが表示されたら、「閉じる」をクリックします。  
Microsoft Exchange の設定が行われます。しばらくすると、「プリンタウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 15** 「キャンセル」をクリックします。

### POINT

- ▶ プリンタの設定は、Windows セットアップ終了後に行ってください。Windows セットアップ中に設定を行うと、正しく印刷できないことがあります。

再起動メッセージが表示されます。

- 16** 「OK」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

## ■セットアップ後

ご使用の機種やモデルに応じて、次の設定を行ってください。

モデム搭載モデル	「モデムを設定する」(▶▶『ソフトウェアガイド』参照)
LAN 搭載モデル	接続するネットワーク環境にあわせて、ネットワークの設定を行ってください。 ネットワークをお使いになるときは、省電力機能が働かないように設定を変更してください(▶▶『ソフトウェアガイド』参照)。省電力機能が働いてしまうと、他の装置からアクセスできなくなることがあります。 また、ネットワークに接続する場合は、必ずACアダプタを接続してお使いください。
[MC] タッチパネルモデル	「タッチパネルの調整 ([MC] タッチパネルモデル)」(▶▶ P.7)

## タッチパネルの調整 ([MC] タッチパネルモデル)

ペンで画面をタッチした位置とマウスポインタの位置がずれている場合は、ペンのタッチ位置調整を行ってください。

### ■調整方法

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu Touch Panel」→「補正ツール」の順にクリックします。  
白い補正画面が表示されます。
- 2** 添付のペンで画面の赤い「+」マークの近くをタッチし、タッチしたままペンを十字の中心に移動して、ペンをタッチパネルから離します。  
このときマウスの位置は調整には無関係です。十字からずれていてかまいません。ペンでタッチして離れた位置によって調整が行われます。  
【Tab】キーを押してマウスを表示しないようにすることもできます。  
タッチすると「+」マークが移動します。
- 3** 同様に、順にすべての点をタッチします。

### POINT

- ▶ ペンの先を「+」マークの交点に合わせて、正確にタッチしてください。
- ▶ 操作中は、手などがタッチパネルに触れないようにしてください。
- ▶ 続けて2回タッチしたときは、【←】【→】【↑】【↓】キーを押して「+」マークを移動し、もう一度タッチしてください。
- 4** 【Enter】キーを押します。  
調整結果を確認する画面が表示されます。

### POINT

- ▶ 「補正点が不正です。再入力して下さい。」と表示されたら、「OK」をクリックし、手順2からやり直してください。

- 5 画面の四隅や中央部分をなぞり、正しく調整されているか確認します。

再度調整する場合は、【Fn】キーを押しながら【←】キーを押し、手順2からやり直してください。


- 6 正しく調整されたら、【Enter】キーを押します。


「補正ツール」が終了します。

これで、タッチパネルが調整されました。

## ■留意事項

- アイコンを右クリックする方法には、次の方法がありません。

・【】（アプリケーション）キーを押す

1. 右クリックしたいアイコンの近くにペンを軽く押し付けます。
2. アイコンの上までドラッグしてペンを移動します。
3. 【】（アプリケーション）キーを押します。

・【Ctrl】キーを押す

次の2種類の方法があります。

1. 【Ctrl】キーを押しながらタッチする
2. 【Ctrl】キーを1度押してからタッチする

設定方法は次のとおりです。

1. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu Touch Panel」→「タッチパネルの設定」の順にクリックします。

「タッチパネルの設定」ウィンドウが表示されます。

2. 「つかう」をクリックし、「OK」をクリックします。

- タスクバーのアイコンが表示されない場合は、クイックポイント IV で操作してください。

- タッチパネル調整を行ったあと、タスクバーに「タッチパネル補正ツール」のタスクが残ることがあります。タッチパネルの調整は終了していますので、「タッチパネル補正ツール」をクリックして表示を消してください。

## ユーザー登録について

本パソコンのユーザー登録は、2001年5月頃から弊社Webサイトで行えるようになります。詳しくは、「FM WORLD.NET」(<http://www.fmworld.net/>)にてご案内する予定です。ご了承ください。

## Windows 起動ディスクを作成してください

「Windows 起動ディスク」とは、Windows が正しく起動できなくなった場合に、コンピュータを起動するために使うディスクです。

不測の事態に備えて、「Windows 起動ディスク」を作成してください。

「Windows 起動ディスク」の作成には、2HDのフロッピーディスクが1枚必要になります。あらかじめ用意してから、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンで「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」をクリックし、表示されるメッセージに従って作成してください。

## ドライバース CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー

本パソコンに添付されている「ドライバース CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」には、Windows をインストールする際に必要となるファイルが含まれています。Windows のインストール時だけでなく、本パソコンが起動しなくなったときの起動ディスクとしても、使用できます。

「ドライバース CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」は、必ずコピーしてください。

次のものを用意してください。

- ドライバース CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク
- ドライバース CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのラベル
- 2HD フロッピーディスク 1枚（購入してください）
- フロッピーディスクユニット（別売）（フロッピーディスクドライブおよびスーパーディスクドライブがない場合）

### 重要

- ▶再インストールには「ドライバース CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用します。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ起動ディスク」は使用しないでください。
- ▶2HD フロッピーディスクは、1.44MB にフォーマットされている必要があります。
- ▶使用できる機器については、「システム構成図」をご覧ください。



## ■コピー方法

「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー（複製）を使用してください。

- 1 必要に応じて周辺機器をパソコン本体に取り付けます（▶『ハードウェアガイド』、周辺機器のマニュアル参照）。
- 2 Windows を起動します。
- 3 添付されている「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットします。
- 4 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 5 「3.5 インチ FD (A:)」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD (A:)」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。メッセージに従ってコピーを作成してください。
- 7 コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。
- 8 コピーしたフロッピーディスクに、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」と印刷されたラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

## プログラムが動かなくなったときは

プログラムが動かなくなってしまったときは、次のように対処してください。

- 1 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。
- 2 動かなくなったプログラムを選択し、「終了」をクリックします。プログラムが強制終了します。もし上記操作で強制終了できないときは、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押す操作を 2 回繰り返して、Windows を強制的に再起動してください。

この方法で再起動できないときは、MAIN スイッチを OFF にし、10 秒以上待ってから本パソコンの MAIN スイッチを ON にしてください。

## Windows が正常に起動しないときは

次のどちらかの操作を行ってください。

- 「ドライバーズ CD」に入っている「QT-PC/U」という診断プログラムでパソコンの診断をしてください。診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えておき、お問い合わせの際にお知らせください。診断時間は通常 5 ～ 10 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

### POINT

- ▶ 「QT-PC/U」によるパソコンの診断は、内蔵 CD-ROM ドライブから実行できます。ポータブル CD-ROM ドライブからは、実行できません。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 本パソコンの電源を一度切り、再び電源を入れます。
- 3 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
- 4 CD-ROM を選択し、【Enter】キーを押します。自動的に診断が開始されます。診断は 6 項目について行われ、各項目の診断結果が画面の「STATUS」の部分に表示されます。
  - ・ 診断でエラーが発生した場合は、「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 桁のエラーコードが表示されます。お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。
  - ・ 診断でエラーが発生しなかった場合は、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。
- 5 診断が終了し、画面の「Message Display」部に次のように表示されたら、CD-ROM を取り出します。Eject CD-ROM.  
Press Ctrl + ALT + DEL for power off
- 6 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
- 7 次のように表示されたら、【Enter】キーを押します。  
[Ctrl+ALT+DEL Push] -> Power off execute ok (ENTER)?  
約 5 秒後に電源が切れます。  
ただし、機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切れない場合があります。  
Please power off manually  
この場合は、パソコン本体の電源を切ってください。上記の操作でエラーが発生しなかった場合は、「再インストール」(▶ P.11) をご覧になり、本パソコンをご購入時の状態に戻してください。  
それでも解決しない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

- Safe モードで起動し、ディスプレイドライバを変更してください。

手順は次のとおりです。

- 1 本パソコンの電源を入れます。
- 2 「Starting Windows 95 ...」と表示されたら、【F8】キーを押します。  
「Microsoft Windows 95 Startup Menu」が表示されます。
- 3 「3. Safe mode」を選択し【Enter】キーを押します。

#### POINT

- ▶ 「キーボードのタイプを判定します。」と表示されたら、【半角/全角】キーを押します。

しばらくすると、「デスクトップ」ダイアログボックスが表示されます。

- 4 「OK」をクリックします。
- 5 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「画面プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」をクリックします。  
「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。  
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「すべてのデバイスを表示」をクリックします。
- 9 「製造元」を「(スタンダードディスプレイ)」に、「モデル」を「スタンダードディスプレイアダプタ (VGA)」に設定し、「OK」をクリックします。
- 10 すべてのダイアログボックスを閉じ、メッセージに従って本パソコンを再起動します。

このあと、ディスプレイドライバをインストールしてください (→▶ P.21)。

#### POINT

- ▶ 再起動後に、「ディスプレイに問題があります。」と表示されたときは、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで色数を 16 色に設定して、本パソコンを再起動してください。
- ▶ 「OK をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」と表示されたときは、必ず「キャンセル」をクリックしてください。

## 再インストール

どうしても Windows が正常に動かなくなった場合、Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、「再インストール」という作業を行います。

お使いの機種を「製品の呼びかた」(▶▶ P.4) で確認のうえ、作業を行ってください。

再インストールは、次の順番で行います。

分類	名称	用意するもの	必要性	備考
インストールの準備	起動ディスクの修正	ドライバーズCD用CD-ROMセットアップ起動ディスク	必要に応じて	区画数を変えた場合、または増設ハードディスクユニットを取り付けた場合
	ハードディスクの圧縮の解除			ハードディスク圧縮時
	区画の作成/変更			—
	ポータブルCD-ROMドライブ使用の設定			ポータブルCD-ROMドライブ使用時
OS/ドライバのインストール	Windows 95 新規インストール	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク</li> <li>Windows 95 オペレーティングシステム CD</li> <li>ドライバーズ CD</li> </ul>	必須	—
	USB サポート	ドライバーズ CD	—	—
	DMA 修正モジュール	—	—	—
ドライバおよびユーティリティのインストール	DirectX7.0a	ドライバーズ CD	必須	ディスプレイドライバの前にインストールすること
	ディスプレイドライバ			DirectX インストール後
	サウンドドライバ			—
	モデムドライバ (※1)			—
	LAN ドライバ (※2)			—
	赤外線通信の設定		—	
	3 モードフロッピーディスクドライバ		必要に応じて	1.2MB フォーマットフロッピーディスクを使用時
プリンタの設定	—	対象プリンタ使用時		
プレインストールソフトのインストール	Internet Explorer 4.01 SP2	ドライバーズ CD	必須	—
	タッチパネルドライバ (※3)		—	
	省電力管理ユーティリティ		必要に応じて	—
	Intel SpeedStep (※4)		—	
	WinDiag		必須	—
	Acrobat Reader		—	
	Intellisync		必要に応じて	—
	FM 一発修正		—	
添付ソフトのインストール	Internet Explorer 3.02	Windows 95 オペレーティングシステム CD	必要に応じて	—
	セキュリティボタン	ドライバーズ CD		—
	ワンタッチボタン設定			—
	Virus Scan			—
	はじめよう！インターネット (@nifty)			—
	Alps Pointing-device Driver (※5)			—
	クイックポイントIVドライバ (※6)			—
	MS-IME97A			—
ソフトウェアライブラリのアップデート	ソフトウェアライブラリ		ドライバーズ CD	必須

(※1) : モデム搭載モデル

(※2) : LAN 搭載モデル

(※3) : [MC] タッチパネルモデル

(※4) : FMV-6700MF9/X

(※5) : [MF]

(※6) : [MC] ベースモデル

## 重要

- ▶ 本書の手順に従ってインストールしても、ハードディスクの内容が完全にご購入時の設定に戻るわけではありません。
- ▶ フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブがない場合、別売の機器を用意してください。使用できる機器については、「システム構成図」をご覧ください。ポータブルCD-ROM ドライブを使用する場合は「ポータブル CD-ROM ドライブを使うには」(▶▶ P.15)を行ってください。
- ▶ 添付の「ドライバーズ CD」には、機種によっては使用できないソフトウェアも含まれています。本書をご覧になり、正しいソフトウェアを使用してください。誤ったソフトウェアをインストールした場合、本パソコンが正しく動作しないだけでなく、Windows、ドライバ、アプリケーションをすべて再インストールしなければならないことがあります。なお、「ドライバーズ CD」のルートディレクトリに「本 CD について (Indexcd.htm)」という表があります。併せてご覧ください。
- ▶ 本書では内蔵ポインティングデバイスでの操作を前提に記述しています。
- ▶ 「必要性」に「必須」とあるものをすべてインストールすると、OS 追加プログラム (▶▶ 『ソフトウェアガイド』参照) はすべてインストールされます。

## インストールの準備

### ■ 留意事項

- 区画の再設定を行うことにより、ハードディスクの内容が消えてしまうことがあります。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- Windows のインストールを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- 周辺機器を取り付けているときは、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。

## ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて

### POINT

- ▶ 再インストールには「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用します。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ起動ディスク」は使用しないでください。

次のいずれかに該当する場合、CD-ROM ドライブ名を変更する必要があります。

- 現在使用中のハードディスクで、ご購入時の設定から区画数を変更した場合
- 別売の増設ハードディスクユニットを取り付けた場合

修正する方法は次のとおりです。エディタ (メモ帳など) を使用して、下線の部分を変更する CD-ROM ドライブ名に修正してください。Autoexec.bat と Drvcopy.inf は、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」のルートディレクトリにあります。

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をディスクコピーし、バックアップディスクを 1 枚作成します (▶▶ P.8)。

以降の作業では、バックアップディスクを「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」として使用してください。

- 2 バックアップディスク内の Autoexec.bat と Drvcopy.inf の下線の部分を修正します。

```
• Autoexec.bat (1 箇所)
@ECHO OFF
PATH=A:¥
REM *****CD-ROM ドライブレター設定*****
SET CDDRV=E
• Drvcopy.inf (3 箇所)
[SourceDisksNames]
:
99="%syscd%" ,5,E:¥WIN95
98="%systemcd%" ,5,E:¥
:
[RM.Auto.upd]
CmdAdd=MSCDEX.EXE,"D:\OEMCD001\I:\E" ([MF] のみ)
```

### POINT

- ▶ ポータブル CD-ROM ドライブを使う設定になっている場合は、「CmdAdd=MSCDEX.EXE,…」の行は表示されないものもあります。

## ハードディスクの圧縮を解除する

ドライブスペースで圧縮されたドライブがハードディスクに存在する場合、Windowsをインストールできません。圧縮を解除してからWindowsをインストールしてください。

Windowsが起動できないなどの理由で圧縮を解除できない場合は、次の操作を行ってください。

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットし、本パソコンの電源を入れます。
- 2 メニューが表示されたら、「終了」を選択します。MS-DOS プロンプトが表示されます。
- 3 ハードディスク内に保存したいファイルがある場合は、フロッピーディスクドライブに保存用のフロッピーディスクをセットし、ハードディスクから必要なファイルをコピーします。  
手順4の操作を行うと、ハードディスクの内容を保存することができなくなります。必要なファイルは、必ずコピーしてください。
- 4 次のように入力し、【Enter】キーを押します。  
del dbspc [ホストドライブ]:  
ファイルが削除されます。
- 5 本パソコンの電源を切ります。

## ハードディスクの領域を設定する

次に該当する場合、ハードディスクの領域を設定する必要があります。

- 現在のハードディスク領域を変更したいとき

### 重要

- ▶ 区画の設定をご購入時から変更した場合、CD-ROM ドライブ名が変わり、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」が使用できなくなることがあります。この場合、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて」(▶▶ P.12)を参照して、CD-ROM ドライブ名を変更してください。
- ▶ 区画を設定すると、ハードディスク上のデータは失われます。区画を設定する前に、必要なデータをバックアップしてください。
- ▶ 本パソコンご購入時は、区画形式の Save To Disk 領域(▶▶ P.29)が内蔵ハードディスクに設定されています。この Save To Disk 領域はメモリを最大に拡張した場合を想定して作成されているため、変更/削除する必要はありません。  
Save To Disk 領域は FDISK の「領域情報を表示」では「Non-DOS」と表示されます。

- ▶ Save To Disk 領域を削除してしまった場合は、区画を作成する前に「PHDISK ユーティリティでの Save To Disk 領域の作成」(▶▶ P.29)を行ってください。ご購入時には区画形式の Save To Disk 領域が作成されています。なお、Save To Disk 領域は、取り付けられているメモリ容量に最適な容量で作成されるため、メモリを増設後は新たに Save To Disk 領域を作成する必要があります。
- ▶ 区画を設定する前に Windows 起動ディスクを作成してください(▶▶ P.8)。区画を設定すると、Windows 起動ディスクを作成できなくなります。Windows 起動ディスクは、再インストール時に必要となる場合があります。必ず作成してください。
- ▶ 増設したハードディスクユニットの区画設定は、Windows のインストール後に行うことをお勧めします。

### ■ハードディスク領域の概要

まず、ハードディスク領域の概要を説明します。

#### □基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域

ハードディスク領域には、次の2種類があります。

##### ●基本 MS-DOS 領域

OS をインストールするために必要な領域です。プライマリマスターに接続されたハードディスク(標準内蔵のハードディスク)の基本 MS-DOS 領域は、起動ドライブ(Cドライブ)になります。

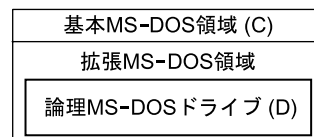
##### ●拡張 MS-DOS 領域

アプリケーションやデータを格納するための領域です。基本 MS-DOS 領域を設定している場合は、残りの領域すべてが拡張 MS-DOS 領域になります。

拡張 MS-DOS 領域内には、論理 MS-DOS ドライブを作成する必要があります。論理 MS-DOS ドライブを作成することで、拡張 MS-DOS 領域にドライブ名(D、E、F…)が割りふられます。論理 MS-DOS ドライブは複数(最高23個)作成できます。

### POINT

- ▶ 本パソコンご購入時にはプライマリマスターのハードディスクに、基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域が設定され、拡張 MS-DOS 領域全体が1つの論理 MS-DOS ドライブに設定されています。



## □FAT16 と FAT32

ハードディスクの領域を設定する場合に、ファイルの管理形式として FAT16 または FAT32 のどちらかを選択できます。FAT16 は最大 2GB までしかドライブを管理できません。そのため、2GB を超える領域を作成したい場合は FAT32 を使用します。しかし、FAT32 をサポートしていない OS (MS-DOS や WindowsNT 4.0 など) から FAT32 でフォーマットしたハードディスクを認識できません。このため、MS-DOS で作成された起動フロッピーからインストールを行うアプリケーションの場合、インストールに失敗するなどの問題が発生することがあります。

### POINT

- ▶ Windows のインストールは、FAT16、FAT32 のいずれのファイルシステムに対しても実行できます。

## ■ハードディスクの領域を設定するうえでの留意事項

ハードディスクの領域を設定する前にお読みください。

- 領域を削除したり容量を変更したりすると、領域内のファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップをとってください。
- 基本 MS-DOS 領域は、Windows のインストールに必要な領域 (最低 1GB) に設定してください。
- ご購入時の設定では Save To Disk が作成されています。Save To Disk 領域は「領域 1 (種類: Non-DOS)」と表示されます。特に設定し直す必要はありません。FDISK を使用して区画の設定を行う場合で Save To Disk 領域がないときは、MS-DOS 領域を作成する前に、PHDISK を使用して Save To Disk 領域を作成してください (▶ P.29)。

## ■ハードディスクの領域を設定する

FDISK を使用する前に、Save To Disk 領域があることを確認してください。Save To Disk 領域がない場合は、PHDISK であらかじめ作成してください (▶ P.29)。

手順の流れを確認後、FDISK を起動してください。

### □手順の流れ

#### 1 FDISK で必要に応じて領域を削除する

削除は次の順番で行います。

1. 拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブの削除
2. 拡張 MS-DOS 領域の削除
3. 基本 MS-DOS 領域の削除
4. Save To Disk 領域の削除

#### 2 FDISK で領域を作成する

削除と逆の順番で行います。

### POINT

- ▶ Save To Disk 領域を作成する場合は、PHDISK ユーティリティで作成してください (▶ P.29)。なお、区画形式の Save To Disk 領域を作成する場合は、MS-DOS 領域作成前に Save To Disk 領域を作成してください。

#### 3 ドライブをフォーマットする

Windows をインストールするドライブは、インストール中にフォーマットされますので、フォーマットの必要はありません。

### □FDISK の起動方法と概要

FDISK は、次の手順で起動してください。なお、Windows がインストールされている環境で増設ハードディスクの領域を設定する場合は、Windows の MS-DOS プロンプトで「fdisk」と入力し、【Enter】キーを押してください。

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットします。
- 2 本パソコンを再起動します。  
「Windows 95 セットアップメニュー」が表示されます。
- 3 【2】キーを押します。  
「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか...?」と表示されます。
- 4 FAT16 を使用する場合は【N】キーを、FAT32 を使用する場合は【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。

### POINT

- ▶ ハードディスクの領域は、FAT16 または FAT32 に切り替えることができます (▶ P.14)。

「FDISK オプション」画面が表示されます。

#### 5 次の説明と画面のメッセージを参照し、領域を設定します。

- ・ MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成  
基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成する場合に選択します。
- ・ アクティブな領域を設定  
基本 MS-DOS 領域をアクティブ (領域に OS をインストールしたら起動できる状態) にする場合に選択します。なお、基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てた場合は、自動的にアクティブに設定されます。アクティブな領域は、「状態」に「A」と表示されます。

### 重要

- ▶ 基本 MS-DOS 領域 (領域 C) をアクティブに設定しないと、ハードディスクから起動できません。基本 MS-DOS 領域は、必ずアクティブに設定してください。



- ・領域または論理 MS-DOS ドライブを削除  
すでに設定されている基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除する場合に選択します。
- ・領域情報を表示  
現在の設定を確認する場合に選択します。
- ・現在のハードディスクドライブを変更（ハードディスクを増設している場合に表示されます）  
FDISK を起動すると、プライマリマスターのハードディスクを設定できる状態になります。これを増設したハードディスクに切り換える場合に選択します。

## ポータブル CD-ROM ドライブを使うには

ポータブル CD-ROM ドライブを使用してインストールを行う場合は、添付の「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」の CD-ROM ドライブをポータブル CD-ROM ドライブ用に変更する必要があります。

[MC] は、ポータブル CD-ROM ドライブ (FMV-NCD43S/403) 以外の CD-ROM ドライブを使用する場合、変更が必要です。

ご購入時は、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」は、次の標準 CD-ROM ドライブを取り付けた環境に合わせられています。

[MF] 内蔵 CD-ROM ドライブユニット

[MC] ポータブル CD-ROM ドライブ (FMV-NCD43S/403)

### ■[MF] の場合

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をディスクコピーし、バックアップディスクを 1 枚作成します (→▶ P.8)。
- 2 本パソコンの電源を切り、バックアップディスクを書き込み可能な状態でセットし、本パソコンの電源を入れます。  
「Windows 95 セットアップメニュー」画面が表示されます。
- 3 【3】 キーを押します。  
機種を選択するメニューが表示されます。
- 4 【2】 キーを押します。  
ポータブル CD-ROM ドライブユニットに変更されます。
- 5 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 キーを押します。  
本パソコンが再起動し、「Windows 95 セットアップメニュー」画面が表示されます。
- 6 現在のインストール環境を確認します。

これで設定は終了です。

FMV-NCD43S/403 以外のポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合は、次の操作をしてください。

- 7 バックアップディスクからファイルを削除します。  
バックアップディスクに入っている次の FMV-NCD43S/403 関連のファイルを削除します。  
ATAKMGR.SYS  
KMEKATCD.SYS
- 8 バックアップディスクにファイルをコピーします。  
コピーするファイルについては、ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。
- 9 Config.sys を修正します。  
バックアップディスクの Config.sys の該当箇所 (xxxxx) を使用するドライブ名に変更してください。  
REM[CD-ROM Drive]  
DEVICE=xxxxx.SYS  
DEVICE=xxxxx.SYS /D:OEMCD001

### ■[MC] の場合

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をディスクコピーし、バックアップディスクを 1 枚作成します (→▶ P.8)。
- 2 バックアップディスクからファイルを削除します。  
バックアップディスクに入っている次の FMV-NCD43S/403 関連のファイルを削除します。  
ATAKMGR.SYS  
KMEKATCD.SYS
- 3 バックアップディスクにファイルをコピーします。  
ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているフロッピーディスクから、ドライブをコピーします。コピーするファイルについては、ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。
- 4 Config.sys を修正します。  
バックアップディスクの Config.sys の該当箇所 (xxxxx) を使用するドライブ名に変更してください。  
REM[CD-ROM Drive]  
DEVICE=xxxxx.SYS  
DEVICE=xxxxx.SYS /D:OEMCD001

作成した「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」のバックアップディスクは、書き込み禁止にして使用してください。

## OS / ドライバのインストール

ここでは、Windows のインストールについて説明します。Windows をインストールし直すようにメッセージが表示されたり、ソフトウェアが起動しないなどの現象が起これば、Windows の再インストールを行ってください。なお、Windows のインストールは、ハードディスクの領域の容量を変えるなど、環境を変えて行うこともできます。

### POINT

- ▶ インストールを行う前に、モデムやプリンタなどの周辺装置を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してからインストールを行ってください。インストールが終了したあとで、再度周辺装置を取り付けてください。
- ▶ ハードディスクを増設して CD-ROM ドライブ名が変更されている場合は、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて」(▶▶ P.12) を参照して、ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクの CD-ROM ドライブ名を変更してください。
- ▶ 貴重なデータなどがある場合は、必ずバックアップをとってからインストールを始めてください。

## Windows の新規インストール

ハードディスクにインストールされているアプリケーションやドライバも含めて、すべてのソフトウェアをいったん消去し、再度 Windows をインストールします。次のものを用意してください。

- Windows 95 オペレーティングシステム CD
- ドライバーズ CD
- ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク
- 『Microsoft® Windows® 95 ファーストステップガイド』
- マウス (内蔵ポインティングデバイスがない場合)

### 重要

- ▶ 再インストールには「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用します。「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー」(▶▶ P.8) を参照してバックアップディスクを作成し、以降の作業ではバックアップディスクを使用してください。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ起動ディスク」は使用しないでください。

- ▶ Windows のインストールでは、各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows のインストールが正常に行われず場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されたから、ポインティングデバイスで操作してください。

## ■Windows のインストール

- 1 ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合は、本パソコンにポータブル CD-ROM ドライブを接続します。

### 重要

- ▶ 内蔵ポインティングデバイスがない場合は、マウスを接続してください。

- 2 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。ご購入時の設定に戻すには、BIOS セットアップ (▶▶『ハードウェアガイド』参照) の設定を初期値に戻し、次の設定を行ってください。

- ・「メイン」メニュー内  
フロッピーディスク A  
(フロッピーディスクを使用する場合) : 1.44/1.2MB 3.5"  
(スーパーディスクドライブを使用する場合) : 使用しない
- ・「詳細」メニュー内  
その他の内蔵デバイス設定
  - ・フロッピーディスクコントローラ  
(フロッピーディスクを使用する場合) : 使用する  
(スーパーディスクドライブを使用する場合) : 使用しない
- ・「省電力」メニュー
  - ・ハードディスク省電力 : 使用しない
  - ・ディスプレイ省電力 : 20 分
  - ・スタンバイタイマー : 使用しない
  - ・サスペンドタイマー : 30 分

BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

- 3 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を書き込み禁止の状態にしてセットし、本パソコンを再起動します。

「Windows 95 セットアップメニュー」画面が表示されます。

### POINT

- ▶ ハードディスクの区画を設定する場合は、「ハードディスクの領域を設定する」(▶▶ P.13) を参照して先に設定を行ってから、新規インストールを行ってください。

- 4 【1】キーを押します。



**5** 「Windows 95 オペレーティングシステム CD」をセットし、しばらくしたら【Y】キーを押します。

「注意！ドライブ C：のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか (Y/N) ?」と表示されます。

**6** 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。

フォーマットが始まります。終了すると「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

**7** 【Enter】キーを押します。

次のポイントを参照しながらメッセージに従って Windows セットアップを続けてください。

**POINT**

▶ フォーマットされていないドライブがある場合は、フォーマットを促す画面が表示されます。「フォーマットする (推奨)」を選択してドライブをフォーマットしてください。ドライブのフォーマット後に Windows セットアップが実行されます。

▶ インストールを中止する場合は、【Esc】キーを押してください。

▶ あとに続く操作手順は、起動ディスクを作成するダイアログボックスを除き、すべて初期値が選択されたことを前提に説明しています。

▶ ScanDisk が実行されたら、ScanDisk 終了後「終了」をクリックして【Enter】キーを押すか、【X】キーを押してください。

▶ Product ID (Product Key) を入力する画面が表示されたら、セットアップ時に書き留めた Product ID (▶▶ P.6) を入力してください。

▶ 「起動ディスク」ダイアログボックスでは「いいえ」をクリックしてください。

本パソコンでは、「ドライバズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」で代用できます。

**8** 「コピー完了」ダイアログボックスが表示されたら、「ドライバズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を取り出します。

**9** 次の操作を行います。

- ・ 内蔵 CD-ROM ドライブユニットをお使いの場合  
「完了」をクリックします。
- ・ ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合
  1. PC カードを取り出し、ポータブル CD-ROM ドライブを取り外します。
  2. 「完了」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。
  3. 「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。

**重要**

▶ 以降の操作で「Windows 95 オペレーティングシステム CD」を要求されたら、「c:\windows\options\cabs」と指定してください。

▶ PCCARD.VXD の「ハードウェアの設定」ダイアログボックスが表示されたら、「参照」をクリックして「ファイルのコピー元」に「c:\windows\system」と指定し、「OK」をクリックしてください。

▶ infrared.cpl の「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されたら、「参照」をクリックして「ファイルのコピー元」に「c:\windows\options\cabs」と指定し、「OK」をクリックしてください。

「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

**10** 「閉じる」をクリックします。

「プリンタウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

**11** 「キャンセル」をクリックします。

再起動メッセージが表示されます。

**12** フロッピーディスクがセットされていないことを確認し、「OK」をクリックします。

Windows が再起動し、「赤外線デバイスウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

**13** 「キャンセル」をクリックします。

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

**14** 「閉じる」をクリックします。

ここからは本パソコンに合わせて Windows の設定を行います。

■ キーボードの種類の設定

**1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

**2** 「キーボード」アイコンをダブルクリックします。

「キーボードのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

**3** 「情報」タブの「変更」をクリックします。

**4** 「すべてのデバイスを表示」をクリックし、「106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+ 英数)」をクリックし、「OK」をクリックします。

「キーボードの種類」が変更されます。

**POINT**

▶ Windows 95 の CD を要求された場合は、「OK」をクリックし、「ファイルのコピー元」に「c:\windows\options\cabs」と指定してください。

- 5 「閉じる」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 6 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## ■リソースの設定

- 1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 3 デバイス一覧の一番上にある「コンピュータ」をダブルクリックします。  
「コンピュータのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「リソースの予約」タブをクリックします。
- 5 「I/O ポートアドレス」をクリックし、「追加」をクリックします。
- 6 「開始の値：0170」、「終了の値：0177」を指定し、「OK」をクリックします。

### POINT

- ▶ 「リソースの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックしてください。
- 7 同様に、「追加」をクリックして「開始の値：0376」、「終了の値：0377」を指定し、「OK」をクリックします。
  - 8 ダイアログボックスをすべて閉じます。

## ■PC カードの設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「PC カード (PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。  
「PC カード (PCMCIA) ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「いいえ」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 4 「いいえ」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 5 「完了」をクリックします。  
電源切断メッセージが表示されます。
- 6 「はい」をクリックします。  
本パソコンの電源が切れます。
- 7 MAINスイッチをOFFにし、10秒以上待ってからONにします。  
Windows が起動します。
- 8 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 9 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

- 10 デバイス一覧に「PCMCIA ソケット」が表示されていない場合は「OK」をクリックします。  
デバイス一覧に「PCMCIA ソケット」が表示されている場合はダブルクリックし、「PCIC or compatible PCMCIA controller」が登録されていたら削除して、本パソコンを再起動します。  
「PCIC or compatible PCMCIA controller」が登録されていない場合は、「OK」をクリックします。

## ■ポータブル CD-ROM ドライブのドライバのインストール (ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合)

FMV-NCD43S/403 をお使いの場合は、次の手順でインストールしてください。

FMV-NCD43S/403 以外のポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合は、ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルをご覧ください。

ポータブル CD-ROM ドライブをお使いでない場合は、この操作は必要ありません。

- 1 Windows を終了して本パソコンの電源を切ります。
- 2 パソコン本体にポータブル CD-ROM ドライブを取り付けます  
(▶▶ ポータブル CD-ROM ドライブのマニュアル参照)。
- 3 ポータブル CD-ROM ドライブの電源を入れ、パソコン本体の電源を入れます。  
「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 ポータブル CD-ROM ドライブに添付されている、「フロッピーディスク」をセットします。
- 5 「次へ」をクリックします。
- 6 「完了」をクリックします。  
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「OK」をクリックします。  
「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
a:¥
- 9 フロッピーディスクを取り出します。

### POINT

- ▶ 「ディスプレイアダプタは使用不可にされています。」と表示されたら、「OK」をクリックし、続いて表示される「システムのプロパティ」ダイアログボックスで、「OK」をクリックしてください。

以上で、ポータブル CD-ROM ドライブのドライバのインストールは終了です。

## POINT

- ▶ ポータブルCD-ROMドライブの使用時に、リソース競合などで CD-ROM ドライブが認識されない場合は、次の「FMV-NCD43S/403 の場合の設定変更」を参照してリソースを自動設定から手動設定に変更してください。

### □FMV-NCD43S/403 の場合の設定変更

- 1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 2 「デバイスマネージャ」タブの「SCSI コントローラ」をダブルクリックします。
- 3 「PCMCIA ATA Card」をダブルクリックします。  
「PCMCIA ATA Card のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「リソース」タブの「自動設定」のチェックを外して、競合していないリソースに設定します。

### ■Windows のアップデート

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「ドライバズ CD」の次の3つのプログラムを実行します。

[CD-ROM ドライブ]: %pccard%cbss%cbssupd. exe

[CD-ROM ドライブ]: %pccard%pccard%pccardup. exe

[CD-ROM ドライブ]: %pccard%pci%pciupd. exe

それぞれ、次の操作を行ってください。

- ・「Windows 95 Update」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックします。
- ・「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックします。
- ・「Windows 95 Update」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックします。
- ・本パソコンを再起動します。

## POINT

- ▶ 「ディスプレイアダプタは使用不可にされています。」と表示されたら、「OK」をクリックし、続いて表示される「システムのプロパティ」ダイアログボックスで、「OK」をクリックしてください。
- ▶ 画面が正常に表示されないことがあります。
- ▶ ファイルマネージャが表示されたら、閉じてください。

### ■機種情報の設定

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。



- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]: %oemcopy. bat

処理を選択する画面が表示されます。

- 4 お使いの機種に対応する数字を入力します。

## POINT

- ▶ MS-DOS プロンプト画面が見つからない場合は、ウィンドウの右上の  をクリックしてください。
- 5 MS-DOS プロンプトのタイトルバーに「完了」と表示されたら、右上の  をクリックします。
- 6 本パソコンを再起動します。

## POINT

- ▶ 再起動時にポータブル CD-ROM ドライブが認識されない場合があります。この場合、パソコン本体の電源を切り、10 秒以上たってから電源を入れてください。
- ▶ 「ディスプレイアダプタは使用不可にされています。」と表示されたら、「OK」をクリックし、続いて表示される「システムのプロパティ」ダイアログボックスで、「OK」をクリックしてください。

### ■パワーマネージメントの設定

パワーマネージメントは、必要に応じて設定してください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。  
「電源のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「パワーマネージメント」タブをクリックします。
- 4 「Windows でコンピュータの電源管理をする」がチェックされていることを確認し、「タスクバーにバッテリーの状態を表示」のチェックを外します。
- 5 「詳細」をクリックします。  
「詳細のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「詳細」タブをクリックします。
- 7 「[スタート]メニューの[サスペンド]コマンドの表示」がチェックされていることを確認し、「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」のチェックを外します。
- 8 「OK」をクリックします。
- 9 「ディスクドライブ」タブをクリックします。
- 10 「電源が AC の場合」と「電源がバッテリーの場合」のチェックを外します。
- 11 「OK」をクリックします。

## POINT

- ▶ 「Windows でコンピュータの電源管理をする」がチェックされていない場合はチェックし、メッセージに従って本パソコンを再起動してください。

## ■MS-DOS モードの CD-ROM ドライバを使用しない設定 [MF]

ポータブル CD-ROM ドライブを使用する場合、この操作は必要ありません。

Windows を新規インストールすると、MS-DOS モード用の CD-ROM ドライバがインストールされます。MS-DOS モードで CD-ROM を使用しない場合は次の操作を行ってください。

- 1 エディタ (メモ帳など) で C:\CONFIG.SYS を開き、CD-ROM デバイスの行に「rem」(空白含む) を追加し、同名で保存します。

```
DEVICE=C:\Realmode\OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001 ...
↓
rem DEVICE=C:\Realmode\OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001
...
```

- 2 本パソコンを再起動します。

## USB サポートのインストール

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:\usb\usbsupp.exe  
「Microsoft 追補版 USB をインストールしますか?」と表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。
- 5 「使用許諾契約」をよく読み、同意するなら「はい」をクリックします。  
スキャンディスク実行後、ファイルがコピーされます。ファイルのコピー終了後、終了メッセージが表示されます。
- 6 「OK」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。
- 7 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 8 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:\usb\usbupd2.exe  
ファイルがコピーされます。

### POINT

- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
- 9 ハードディスクアクセス表示、CD アクセス表示、および PC カードアクセス表示が点灯していないことを確認し、本パソコンを再起動します。
  - 10 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
  - 11 「デバイスマネージャ」タブの「その他のデバイス」をダブルクリックします。

- 12 「PCI Universal Serial Bus」をクリックし、「削除」をクリックします。  
「デバイス削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

### POINT

- ▶ 「デバイス削除の確認」ダイアログボックスに「すべての設定から削除」と「指定された設定から削除」の選択肢が表示された場合は、「すべての設定から削除」をクリックしてください。
- 13 「OK」をクリックします。
  - 14 「更新」をクリックします。  
「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
  - 15 「次へ」をクリックします。
  - 16 「場所の指定」をクリックし、「場所」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:\csetmx
  - 17 「完了」をクリックします。  
「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されず。
  - 18 「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
c:\windows\system
  - 19 「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「閉じる」をクリックします。

## ハードディスクの DMA の設定

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MD-DOS プロンプト」の順にクリックします。
- 3 次のように続けて入力し、【Enter】キーを押します。  
copy [CD-ROM ドライブ]:\dma\esdi\_506.pdr  
c:\windows\system\iosubsys  
上書きを確認するメッセージが表示されます。
- 4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
- 5 ウィンドウの右上の  をクリックし、本パソコンを再起動します。
- 6 デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 7 「デバイスマネージャ」タブの「ディスクドライブ」をダブルクリックします。  
接続されているディスクドライブの一覧が表示されます。
- 8 ディスクドライブの一覧から「GENERIC IDE DISK TYPExx」(標準搭載のハードディスク)をダブルクリックします。  
「GENERIC IDE DISK TYPExx のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

**9 「設定」タブをクリックします。**

「現在のドライブ:」に C: があることを確認してください。もし、C: ドライブがない場合は、標準搭載のハードディスク以外を選択しています。「キャンセル」をクリックして再度ディスクドライブをダブルクリックしてください。

**10 「オプション」の「DMA」をチェックし、「OK」をクリックします。**

「システムのプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。

**11 「OK」をクリックします。**

再起動メッセージが表示されます。

**12 「はい」をクリックします。**

本パソコンが再起動します。

## 西暦 2000 年問題に関する留意事項

この時点では、まだ西暦 2000 年問題を修正するプログラムはインストールされていません。このプログラムは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールします。

## ドライバおよびユーティリティのインストール

Windows のインストールが終了したら、必要に応じて次のインストールを行ってください。

### POINT

- ▶ ここでの説明は、本パソコンがご購入時の状態（周辺装置などを取り付けていない状態）であることを前提としています。

次のものを用意してください。

- Windows 95 オペレーティングシステム CD
- ドライバーズ CD

## DirectX7.0a のインストール

### POINT

- ▶ ディスプレイドライバ、サウンドドライバ（[MC] の場合）をインストールする前に必ずインストールしてください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]: %dx70a%dx7ajpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

## ディスプレイドライバのインストール

### POINT

- ▶ ディスプレイドライバをインストールする前に、DirectX7.0a を必ずインストールしてください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。  
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]: %ati%setup.exe  
「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「次へ」をクリックします。  
「製品ライセンス契約」ダイアログボックスが表示されます。

**5 「はい」をクリックします。**

ドライバのインストールが始まります。  
インストールが終了すると、「セットアップの完了」ダイアログボックスが表示されます。

**POINT**

▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

**6 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認して「完了」をクリックします。**  
本パソコンが再起動します。

**7 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**  
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

**8 「デバイスマネージャ」タブの「ディスプレイアダプタ」をダブルクリックし、次のものをダブルクリックします。**  
・ RAGE MOBILITY PCI(Japanese)

**9 「情報」タブの「デバイスの使用」の「このハードウェア環境で使用不可にする」がチェックされている場合は、チェックを外します。**

**10 「OK」をクリックします。**

**POINT**

▶ 手順9でチェックを外した場合は、再起動メッセージが表示されます。「はい」をクリックして本パソコンを再起動してください。

**11 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**

**12 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」をクリックします。**

**13 「モニター」タブの「変更」をクリックします。**  
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。

**14 製造元とモデルを次のように選択し、「OK」をクリックします。**

	製造元	モデル
[MF]	スタンダードモニター	ラップトップディスプレイパネル (1024 × 768)
[MC]	スタンダードモニター	ラップトップディスプレイパネル (800 × 600)

**POINT**

- ▶ 製造元とモデルの一覧が表示されない場合は、「すべてのデバイスを表示」をクリックしてください。
- ▶ 「リフレッシュレート」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックし、続いて表示されるダイアログボックスで「はい」をクリックしてください。

「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログボックスに戻ります。

**15 すべてのダイアログボックスを閉じ、本パソコンを再起動します。**

**16 「画面のプロパティ」ダイアログボックスで解像度と色数を設定し、「OK」をクリックします** (→▶『ソフトウェアガイド』参照)。

**POINT**

- ▶ ご購入時の設定値は、『ソフトウェアガイド』の「デバイス一覧」をご覧ください。
- ▶ 選択した色数によっては、「互換性の警告」ダイアログボックスが表示されます。「新しい設定でコンピュータを再起動する」をクリックし、「OK」をクリックしてください。

**■マウスポインタの設定**

ここでは、マウスポインタを本パソコンご購入時の設定にする手順を説明します。

**1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

**2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。**

**3 「Windows ファイル」タブの「アクセサリ」をクリックし、「詳細」をクリックします。**

**4 「マウスポインタ」をチェックし、「OK」をクリックします。**

**5 「OK」をクリックします。**  
ファイルがコピーされます。

**6 「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」アイコンをダブルクリックします。**

「マウスのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

**7 「ポインタ」タブの「デザイン」一覧から、「Windows スタANDARD (大きいフォント)」をクリックします。**  
マウスポインタの大きさが変更されます。

**8 「OK」をクリックします。**

**POINT**

- ▶ 詳細に設定したい場合は、変更したいマウスポインタの状態(「ヘルプの選択」など)をクリックし、「参照」をクリックしてください。ファイルを選択できます。
- ▶ 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスの「動作」タブで「ポインタの速度」、「ポインタの軌跡」を設定することもできます。
- ▶ 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスの「ボタン」タブで、右きき用、左きき用の切り換えとダブルクリックの速度を設定できます。



## ■富士通製のディスプレイを外部ディスプレイとして使用する場合の設定

- 1 Windowsを終了し、本パソコンの電源を切ります。
- 2 ディスプレイを接続します（ディスプレイのマニュアル参照）。
- 3 本パソコンの電源を入れます。  
プラグアンドプレイモニターが検出されます。
- 4 「ドライバズ CD」をセットします。
- 5 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 6 「ディスプレイの詳細」タブで「詳細プロパティ」をクリックします。

### POINT

- ▶ メッセージが表示されたら「キャンセル」をクリックします。
- 7 「モニター」タブで「変更」をクリックします。  
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
  - 8 「ディスク使用」をクリックします。  
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
  - 9 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥monitor
  - 10 お使いのディスプレイをクリックし、「OK」をクリックします。
  - 11 「閉じる」をクリックします。
  - 12 「OK」をクリックします。

### POINT

- ▶ 富士通製以外のディスプレイを使用する場合は同様の手順で、ディスプレイに添付のディスクからドライバをインストールしてください。
- ▶ USB Hubを内蔵しているディスプレイでは、Windows起動時にUSB Hubも検出されます。  
この場合は、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力してください。  
[CD-ROMドライブ]:¥fjmonusb

## サウンドドライバのインストール

### POINT

- ▶ [MC]では、サウンドドライバをインストールする前にDirectX7.0aをインストールしてください。
- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
  - 2 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

- 3 「デバイスマネージャ」タブの「その他のデバイス」の「PCI Multimedia Audio Device」をダブルクリックします。
- 4 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリックします。  
「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「はい」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 6 「場所の指定」をクリックします。  
「場所の指定」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「場所」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[MF] [CD-ROMドライブ]:¥yacxg  
[MC] [CD-ROMドライブ]:¥sigmatel  
「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」と表示されます。
- 8 「完了」をクリックします。  
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
- 9 「OK」をクリックします。  
「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されます。
- 10 「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[MF] [CD-ROMドライブ]:¥yacxg  
[MC] [CD-ROMドライブ]:¥sigmatel  
ファイルがコピーされます。

### POINT

- ▶ 「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されたら「OK」をクリックし、続いて表示されるimaadp32.acmの「ファイルのコピー」ダイアログボックスでは「c:¥windows¥options¥cabs」と指定してください。
- 11 「閉じる」をクリックします。
  - 12 「デバイスマネージャ」タブの「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」をダブルクリックし、次のデバイスが表示されていることを確認します。  
[MF] YAMAHA AC-XG Audio  
[MC] QSound\_Sigmatel Stac97 PCI Audio
  - 13 「OK」をクリックします。
  - 14 本パソコンを再起動します。

[MC]は、ここで終了です。

[MF]は、インストール後の確認を行います。

- 15 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 16 「マルチメディア」アイコンをダブルクリックします。  
「マルチメディアのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

- 17 「MIDI」タブで「単一の機器」が次のデバイスになっていることを確認します。

[MF] YAMAHA AC-XG Synthesizer

- 18 「OK」をクリックします。

- 19 「コントロールパネル」ウィンドウの右上の **X** をクリックします。

## ■ボリュームコントロールの設定 [MC]

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」の順にクリックします。

「Volume Control」ウィンドウが表示されます。

- 2 「Line In」と「CD Player」の「ミュート」にチェックを付けます。

### POINT

▶ Line In と CD Player は、未使用の機能です。

- 3 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。

- 4 「音量の調整」で「再生」が選択されていることを確認します。

- 5 「表示するコントロール」で「Microphone」にチェックを付け、「OK」をクリックします。

- 6 「オプション」メニュー→「トーン調整」の順にクリックします。

- 7 Microphone の「トーン」をクリックします。

「Microphone の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。

- 8 「そのほかの調整」で「Microphone Boost」のチェックを外し、「閉じる」をクリックします。

### POINT

▶ 「Microphone Boost」にチェックを付けているとマイクの音が大きくなり、ハウリングをおこすことがあります。

- 9 「オプション」メニュー→「トーン調整」の順にクリックし、「トーン調整」のチェックを外します。

- 10 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。

- 11 「音量の調整」で「再生」が選択されていることを確認します。

- 12 「表示するコントロール」で「Microphone」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

- 13 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。

- 14 「音量の調整」で「録音」を選択します。

- 15 「表示するコントロール」で「Microphone」にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリックします。

- 16 「Microphone」の「選択」にチェックを付けます。

- 17 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。

- 18 「音量の調整」で「再生」を選択し、「OK」をクリックします。

- 19 ウィンドウ右上の **X** をクリックします。

## ■マルチメディアサウンド設定のインストール

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

- 3 「Windows ファイル」タブをクリックします。

- 4 「ファイルの種類」で「マルチメディア」をクリックし、「詳細」をクリックします。

- 5 「マルチメディアサウンド設定」にチェックを付け、「OK」をクリックします。

- 6 「OK」をクリックします。

ファイルがコピーされます。

## モデムドライバのインストール (モデム搭載モデル)

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。

- 2 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

- 4 「その他のデバイス」に登録されている「PCI Card」をクリックし、「削除」をクリックします。

「デバイス削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

- 5 「OK」をクリックします。

- 6 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。

- 7 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]: %modem%setup.exe

「Welcome」ダイアログボックスが表示されます。

- 8 「Next」をクリックします。

インストールが始まり、終了すると「Setup Complete」ダイアログボックスが表示されます。

### POINT

▶ 「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示された場合は、「OK」をクリックし、ファイルのコピー元に次のように入力して「OK」をクリックしてください。

[CD-ROM ドライブ]: %modem



- 9 「Finish」をクリックします。

### POINT

- ▶ 再起動メッセージが表示された場合は、「Yes,I want to restart my computer now」をクリックし、本パソコンを再起動してください。

## ■モデムの設定

モデムドライバをインストールしたら、『ソフトウェアガイド』の「モデムを設定する」をご覧になり、モデムを設定してください。

## LAN ドライバのインストール (LAN 搭載モデル)

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 4 「その他のデバイス」に登録されている「PCI Ethernet Controller」をクリックし、「削除」をクリックします。「デバイス削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

### POINT

- ▶ 「デバイス削除の確認」ダイアログボックスに「すべての設定から削除」と「指定された設定から削除」の選択肢が表示された場合は、「すべての設定から削除」をクリックしてください。
- 5 「OK」をクリックします。
  - 6 「更新」をクリックします。「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
  - 7 「次へ」をクリックします。
  - 8 「場所の指定」をクリックします。
  - 9 「場所」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥lan
  - 10 「完了」をクリックします。「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
  - 11 「OK」をクリックします。
  - 12 「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥lan  
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
  - 13 「OK」をクリックします。
  - 14 「コンピュータ名」、「ワークグループ」を使用環境に合わせて半角英数字で入力し、「閉じる」をクリックします。

### POINT

- ▶ 「コンピュータ名」と「ワークグループ」はネットワーク管理者に確認してください。
- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら「はい」をクリックしてください。

ファイルのコピーが始まります。

- 15 再起動メッセージが表示されたら「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動し、「ネットワークパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されます。
- 16 「キャンセル」をクリックします。
- 17 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。  
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。
- 18 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥lan¥i55xset.exe
- 19 本パソコンを再起動します。
- 20 接続するネットワーク環境にあわせて、ネットワークの設定を行います。

## 赤外線通信の設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「赤外線モニター」アイコンをダブルクリックします。「赤外線モニター」ウィンドウが表示されます。
- 3 「オプション」タブをクリックします。
- 4 「次のポートで赤外線通信を使用可能にする」の「COM1」を「COM4」に変更します。
- 5 「OK」をクリックします。

## 3 モードフロッピーディスクドライバのインストール

3 モードフロッピーディスクドライバをインストールすると、1.44MB、1.2MB、720KB のフロッピーディスクの読み書きができます。ただし、1.2MB でフォーマットすることはできません。

### 重要

- ▶ スーパーディスクドライブは本ドライバをサポートしていないため、スーパーディスクドライブをお使いの場合は本ドライバをインストールする必要はありません。
- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。

- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ハードウェア」アイコンをダブルクリックします。  
「ハードウェアウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「次へ」をクリックします。  
「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」と表示されます。
- 5 「いいえ」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
ハードウェアの種類を選択する画面が表示されます。
- 6 「ハードウェアの種類」で「フロッピーディスクコントローラ」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
製造元とモデルの一覧が表示されます。
- 7 「ディスク使用」をクリックします。  
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥3mode  
モデル一覧が表示されます。
- 9 「Fujitsu 3-mode Floppy (FMV Series)」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 10 「完了」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 11 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## プリンタの設定

### ■富士通製プリンタの設定

富士通製のプリンタをお使いの場合は、次の操作を行ってください。

- 1 「ドライバース CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
- 3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。  
「プリンタウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「次へ」をクリックします。
- 5 「ローカルプリンタ」または「ネットワークプリンタ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 6 「ディスク使用」をクリックします。
- 7 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥fmlbp
- 8 お使いのプリンタをクリックします。

このあとは、メッセージに従って操作してください。

### POINT

- ▶ 「ファイルのコピー」ダイアログボックスが表示されたら、「c:¥windows¥options¥cabs」と指定してください。

## プレインストールソフトのインストール

### Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール

- 1 「ドライバース CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥i386¥setup.exe
- 4 「Internet Explorer 4.01 SP2のインストール」のアイコンをクリックします。  
あとは次のポイントをご覧になり、メッセージに従って操作してください。

### POINT

- ▶ ご購入時は、次の設定でインストールされています。
  - ・ インストールオプション … 完全インストール
  - ・ デスクトップのアップデート … いいえ

インストールが終了すると、再起動メッセージが表示されません。

- 5 「OK」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。
- 6 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。
- 7 次のように続けて入力し、【Enter】キーを押します。  
copy c:¥windows¥options¥cabs¥rmm.pdr  
c:¥windows¥system¥iosubsys  
上書きを確認するメッセージが表示されます。
- 8 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
- 9 ウィンドウの右上の **X** をクリックします。

Internet Explorer 4.01 SP2 のインストールが終了したら、西暦 2000 年問題修正モジュールと URL Security アップデートプログラムをインストールします。「ドライバース CD」をセットしたまま操作してください。

## ■西暦 2000 年問題修正モジュールのインストール

### POINT

- ▶ このモジュールは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールしてください。
- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥2k¥w95y2k.exe  
使用許諾の画面が表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。  
「続行しますか？」と表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## ■OutlookExpress 用西暦 2000 年問題修正モジュールのインストール

### POINT

- ▶ このモジュールは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールしてください。
- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥oey2k¥ja-x86-q234680.exe  
「この修正プログラムをインストールしますか？」と表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。  
「この修正プログラムはインストールされました。」と表示されます。
- 4 「OK」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## ■URL Security アップデートプログラムのインストール

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥ur lupd¥245729ja5.exe  
「続行しますか？」と表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。  
使用許諾の画面が表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## タッチパネルドライバのインストール (〔MC〕タッチパネルモデル)

### 重要

- ▶ タッチパネルドライバをインストールするには、USB サポートと Internet Explorer 4.01 SP2 がインストールされている必要があります。
- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥tpanel¥setup.exe  
「タッチパネルドライバのインストール」ウィンドウが表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。  
必要なファイルがコピーされ、「Fujitsu Touch Panel Install/Update」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 CD-ROM ドライブが止まっていることを確認し、「OK」をクリックします。
- 6 本パソコンを再起動します。

### POINT

- ▶ タッチパネルドライバの再インストール後は、タッチパネルの調整が必要になります (→▶ P.7)。

## 省電力管理ユーティリティのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥pmset¥setup.exe

このあとはメッセージに従って操作します。

## Intel SpeedStep のインストール (FMV-6700MF9/X)

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥spdstep¥setup.exe  
「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

- 4 「次へ」をクリックします。  
「製品ライセンス契約」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。  
「セットアップの完了」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックします。

## Windows 環境調査ツール (WinDiag) のインストール

---

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:%windiag%setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

## Acrobat Reader のインストール

---

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:%acrobat%ar405jpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

- 4 本パソコンを再起動します。

## Intellisync のインストール

---

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:%intsync%disk1%setup.exe  
インストールが始まります。次の POINT をご覧になり、メッセージに従って操作します。

### POINT

- ▶ 「ユーザの情報」ダイアログボックスでは次のように入力してください。  
名前: FMV-USER  
会社名: FM-USER  
シリアル番号: FUJ014

- ▶ 「セットアップの完了」ダイアログボックスでは「Readme ファイルの起動」のチェックを外し、「IrWizard を起動して赤外線接続を設定します。」をチェックしてください。
- ▶ 「赤外線の設定－現在のデバイス」ダイアログボックスでは「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」が選択されていることを確認し、「完了」をクリックしてください。「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」が選択されていない場合は、「次へ」をクリックしてメッセージに従って「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」を選択してください。「赤外線の設定－IrComm ポートの選択」ダイアログボックスおよび「赤外線の設定－IrLPT ポートの選択」ダイアログボックスでは、「None」をクリックしてください。

## FM 一発修正のインストール

---

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:%fmcure%setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

## ソフトウェアライブラリのアップデート

添付ソフトなど新たにソフトウェアをインストールしたとき、アプリケーションによっては追加された MFC ライブラリをアップデートする必要があります。

### アップデート方法

使用するソフトウェアすべてをインストール後にアップデートしてください（1つのソフトウェアをインストールするごとにアップデートする必要はありません）。該当する MFC ライブラリが検出・アップデートされます。

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥libupd¥speu.exe
- 4 本パソコンを再起動します。

## 添付ソフトについて

添付ソフトのインストール方法については、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。添付ソフトをインストールした場合、必ずインストール後にソフトウェアライブラリのアップデートを実行してください。

Internet Explorer については、プレインストールされている Internet Explorer 4.01 SP2 の使用をお勧めします。

## Save To Disk 領域

ここでは、Save To Disk 領域の概要と作成方法を説明します。

### ■形式と容量

Save To Disk 領域には、「区画形式」と「ファイル形式」があります。また、Save To Disk 領域として必要になる容量は、次のように決まります。

Save To Disk 領域の必要容量 = メインメモリ容量 + ビデオメモリ容量・その他

Save To Disk 領域の必要容量には、メインメモリ容量とビデオメモリ容量以外に若干の作業領域が必要です。そのため、Save To Disk 領域の容量は、メインメモリ容量とビデオメモリ容量の合計よりも多くなっています。

ご購入時の設定については、『ソフトウェアガイド』の「Save To Disk 領域」をご覧ください。

### POINT

- ▶ 区画形式で Save To Disk 領域を作成する場合は、ファイル形式で Save To Disk 領域を作成する場合よりも、大きな容量が必要になります。
- ▶ 「ドライブスペース」などのディスク圧縮機能で圧縮されたドライブ上では、Save To Disk 領域をファイル形式で使用することはできません。Save To Disk 領域をファイル形式で作成しているときは、「ドライブスペース」などのディスク圧縮機能は使用しないでください。

### ■PHDISK ユーティリティでの Save To Disk 領域の作成

PHDISK ユーティリティには、Save To Disk 領域の作成、再フォーマット、削除および詳細情報の表示などの機能があります。本パソコンご購入時に Save To Disk 領域が作成されているので、再フォーマット、削除および詳細情報の表示などを行いたい場合に PHDISK ユーティリティを使用してください。PHDISK ユーティリティ (PHDISK.EXE) は、「ドライバズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」に含まれています。

### 重要

- ▶ 区画形式の Save To Disk 領域の作成は、FDISK ユーティリティによる MS-DOS 領域作成前に行ってください。
- ▶ Save To Disk 領域を作成後は必ずパソコン本体を再起動してください。  
作成直後に Save To Disk を行うと正しく動作しない場合があります。

- ▶ Save To Disk 領域はファイル形式または、区画形式のどちらか一方しか作成できません。
- ▶ 区画形式の Save To Disk 領域の容量を増やす場合は、組み込まれている MS-DOS 領域の容量を FDISK により減らす必要があります。この際、それまでの MS-DOS 領域内のデータはすべて失われます。作業前に大切なデータをバックアップしてください。

また、Windows 95 の場合、PHDISK ユーティリティは、Windows モードが起動していると正しく動作しません。PHDISK ユーティリティは、MS-DOS モードを起動し、MS-DOS モード上でお使いください。

#### ●使用方法

##### PHDISK { オプション }

オプションは次のとおりです。

```
/CREATE /FILE (または /PARTITION)
/DELETE /FILE (または /PARTITION)
/REFORMAT /PARTITION
/INFO
```

それぞれのオプションは、先頭の 1 文字だけでも有効です。たとえば、/CREATE と /G は同じです。PHDISK とオプションの間、オプションとオプションの間は、半角空白を 1 つ入れてください。また、PHDISK をオプションなしで起動すると、簡単な使用方法、現在作成されている領域などが表示されます。

#### □オプションについて

##### ●/CREATE /FILE (または /PARTITION)

このオプションは Save To Disk 領域がまだ作成されていない場合に使用します。

/CREATE /FILE と指定すると、Save To Disk 領域をファイル形式で作成します。

/CREATE /PARTITION と指定すると、Save To Disk 領域を区画形式で作成します。Save To Disk 領域の容量は、現在のシステム構成で最適な容量の領域を作成します。

区画形式で作成した場合、Save To Disk 領域の作成が終わると、その区画のフォーマットを開始します。フォーマット中にハードディスクに不良セクタを見つけた場合は、そのセクタにマークを付けて、以後使用しないようにします。

##### ●/REFORMAT /PARTITION

区画形式の Save To Disk 領域を再フォーマットします。

このオプションは、Save To Disk 機能を使用していて、読み出しエラーや書き込みエラーが起こった場合に使用してください。再フォーマット中にハードディスクに不良セクタを見つけた場合は、そのセクタにマークを付けて、以後使用しないようにします。Save To Disk 領域の容量が変わることはありません。

##### ●/DELETE /FILE (または /PARTITION)

すでに作成されている Save To Disk 領域を削除する場合に使用します。

/DELETE /FILE と指定すると、ファイル形式の Save To Disk 領域を削除します。

/DELETE /PARTITION と指定すると、区画形式の Save To Disk 領域を削除します。

Save To Disk 領域の容量を変更したい場合は、まず /DELETE によりすでに作成された Save To Disk 領域を削除し、/CREATE により新たに希望の容量の Save To Disk 領域を作成します。

##### ●/INFO

すでに作成されている Save To Disk 領域に関する詳細情報を表示します。

##### ●表示例《区画形式》

Save to Disk 領域詳細情報：

開始セクタ：XXXXXXX (ヘッド X、シリンダ XXX、セクタ X)

全容量：XXXXXX バイト

現在の状態：

現在の構成では、XXXXXXk バイトの Save to Disk 領域が必要です。PHDISK はさらに多少の作業領域を必要とし、実際に必要な全領域のバイト数を自動的に計算します。

##### ●表示例《ファイル形式》

Save to Disk 領域詳細情報：

現在の Save to Disk 領域は、ファイル名が C:\\$SAVE2DSK.BIN で、サイズは XXXXXX bytes です。属性は、システム、隠しファイル、および読取専用です。

現在の状態：

現在の構成では、XXXXXXk バイトの Save to Disk 領域が必要です。PHDISK はさらに多少の作業領域を必要とし、実際に必要な全領域のバイト数を自動的に計算します。

Memo \_\_\_\_\_

Microsoft、Windows、MS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2001

このマニュアルは再生紙を使用しています。